



平成27年11月11日

各 位

上場会社名 株式会社 東京機械製作所
 代表者 代表取締役社長 芝 龍太郎
 (コード番号 6335)
 問合せ先責任者 執行役員総務部長兼経理部長 根本 伸
 (TEL 03-3451-8154)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益 |
|-----------------------------------|--------|--------|--------|------------------|-------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 4,540 | △940 | △820 | △820 | △9.39 |
| 今回修正予想(B) | 3,500 | △1,680 | △1,510 | △1,540 | △17.63 |
| 増減額(B-A) | △1,040 | △740 | △690 | △720 | |
| 増減率(%) | △22.9 | — | — | — | |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期) | 3,404 | △541 | △322 | △503 | △5.76 |

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり当期純利益 |
|-------------------------|--------|--------|--------|-----------------|------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想(A) | 11,810 | 20 | 130 | 80 | 0.91 |
| 今回修正予想(B) | 9,210 | △2,270 | △2,110 | △2,140 | △24.50 |
| 増減額(B-A) | △2,600 | △2,290 | △2,240 | △2,220 | |
| 増減率(%) | △22.0 | — | — | — | |
| (ご参考)前期実績 (平成27年3月期) | 8,088 | △1,244 | △867 | △121 | △1.38 |

修正の理由

平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、新聞印刷業界において更新需要が増加しつつあるものの、当社が期待した程には新規案件の需要は盛り上がりおらず、また受注済案件については納期がずれ込んだこと等から、工事進行基準による売上高の計上が期初の予想に比べ遅れているため、売上高は前回公表値を大きく下回る見込みです。
 利益面におきましては、売上高が予想を大きく下回ったことを主因に、加えて業界内での厳しい受注競争が続いていることから受注案件の採算が悪化し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益をそれぞれ下方修正いたします。

平成28年3月期通期連結業績見込みにつきましても、オフセット輪転機の新規受注、メンテナンス工事の受注獲得に極力注力するものの、当社の売上高の大半を占めているオフセット輪転機に関して期待していた程の需要の回復が見られず、一方で今期見込んでいたインクジェット方式のデジタル印刷機の大口受注が今期中には見込めなくなったこと等から、売上高が前回公表値から大幅に減少することが予想されます。
 利益面におきましても、売上高の大幅な減少及び受注案件の採算の悪化により、各利益はそれぞれ黒字予想から大幅な損失を計上する見込みとなりました。

(注)上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上